

※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※

図書館つうしん

中央図書館 Tel 24-1507

【1月の休館日】

1日 土曜～4日 日曜・10日 月曜・11日 日曜・17日 月曜・24日 日曜・27日 日曜・31日 日曜

イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



心を燃やせ！ビブリオバトル参加者募集

あなたの“読書愛”、図書館で語ってください！

イチオシの本を持ってきて、紹介してください。すべての発表が終わったら、「どの本が読みたくなったか」を参加者全員で投票してチャンプ本を決めます。

日時：2月13日 日曜 午後2時～

場所：中央図書館

進行：藤原龍一郎（図書館文化アドバイザー）

申込方法：1月5日 日曜から電話、図書館カウンター、HPにて申し込み



▲中学生対抗ビブリオバトルの様子

ビブリオバトルのやり方や過去のチャンプ本はホームページから▶



【予約不要】リサイクルフェア開催決定

図書館での役目は終わりましたが、まだ楽しめる本や雑誌を無料で配布します。来場者多数の場合、入場制限を行い、整理券を配布することがあります。

日時：1月29日 土曜・30日 日曜 9:00～15:00

※ご利用は30分以内をお願いします。

場所：中央図書館3階 読書室

持ち物：エコバッグなどの入れ物



【1月のおはなし会】※予約不要

◆こども図書館

8日 土曜 新春おはなしまつり

午前の部 10時30分～

午後の部 2時30分～

13日 日曜 ひよこのおはなしかい

15日 土曜 むかしむかしのおはなし会

(午前10時30分～)

時の記憶

シリーズ194

「東大橋原遺跡 - 石岡市の縄文時代 -」

図書館文化振興課（支所）

Tel 43-1111（内線1456）

▶東大橋原遺跡で確認された土器焼成遺構



東大橋原遺跡は、園部川をのぞむ台地上に位置しています。東西約770m、南北約700mの広大な範囲に縄文時代中期を中心とした集落が確認されています。昭和52年から昭和54年まで3度にわたって学術調査が行われました。土器焼成遺構と呼ばれる土器作りに関する珍しい遺構が検出されているほか、縄文時代の装飾品や粘土の塊など当時の生活がうかがえる遺物が数多く出土しています。そのため、石岡市内のみならず、霞ヶ浦沿岸の縄文文化を考える上でも重要な遺跡となっています。

しかし、その調査成果は報告書などにまとめられているものの、多くの出土遺物が収蔵庫に眠ったままになっています。発掘調査から40年が経過し、縄文時代遺跡の世界遺産登録など、縄文時代が注目されている今、遺物たちを公開するとともに、新たな視点を加えて改めて東大橋原遺跡を考えてみようと思います。

ふるさと歴史館第27回企画展

「東大橋原遺跡 - 石岡市の縄文時代 -」

期間 / 1月12日 日曜 ～ 4月3日 日曜

場所 / ふるさと歴史館（石岡市総社1-2-10）

休館日 / 月曜日（祝日の場合は翌日）

文芸いしおか

俳句

いしおか俳句同好会

神の留守神在すと手を合わす 一色 しのぶ(総社)
 山茶花や吾に微笑み寄り添ふて 田端 俊行(三村)
 新涼や米研ぐリズム全身に 森田 愛子(府中)
 神の留守湯を沸かしては忘れては 森 まさえ(東光台)

やさと俳句会

ファッションは冬の帽子とスニーカー 越智 旅舟(太田)
 銘仙の綿入着れば妣近し 野村 京子(柿岡)
 生きらるる力となりぬ根深汁 石田 清美(瓦谷)
 金賞の札付けしまま菊枯るる 萩原 清(宇治会)

川柳

いしおか川柳会

句を詠んで心の傷を慰める 小川 義隆(大増)
 点滴のしずく見つめる見舞客 金本 優(東成井)
 踏み台でロコモ予防に励む日々 小林 凧(総社)

短歌

石岡短歌同好会

晴れの日を選びベランダ磨きあげ蘇らせる新築の色 西村 静江(茨城)
 山茶花は上へ下へと花盛り時折鶉が花散らしゆく 大嶋 全江(高浜)
 名の由来知りて小豆の「娘来た」蒔きて四年目年ごと増やす 木間塚 具子(井関)

俚謡(都々逸)

石岡俚謡会

君の訃報に 泣いてるような 秋の長雨 菊一枝 香俱耶姫(南台)
 さんま焦げぬか 心配顔で 猫が火の番 台所 坂下 蜻蛉(国府)
 独りベンチに 鈴虫鳴いて 月が明るい 無人駅 前島 節子(川又)
 秋を知らせる 虫の音響き 和む心に 月明かり 田村 こまき(鹿の子)
 猫と暮らして 三十二年 別れ遠くに 忍ぶ夜 秋野 もみじ(南台)
 柿にぶどうに 大きな梨に 次は焼き栗 君と食む 助川 浩史(府中)
 今朝の女房 ご機嫌さんで 軽い鼻歌 台所 篠原 美千代(国府)
 朝な夕なの 手入れの甲斐で 見事咲かせた 鉢の菊 惣野代 英子(東石岡)
 子等を見送る 別れの駅に 安否気遣う 親心 関根 貞臣(若宮)

投稿作品

令和四年うしからとらへもう終り 伊能 政子(大砂)
 会えぬ間に手足ののびし幼らの写真みてはおどろくばかり 鈴木 君江(山崎)
 こがらしの吹き荒れし日の夕暮れに望月皓薨を照らす 荒井 幸子(山崎)
 急激にコロナ感染減りゆくもまだまだマスクの冬が又来る

第35回

「石岡茶道会」

表千家、裏千家の二派で、石岡市文化祭・まちの文化一日体験・風土記の丘での呈茶など、市民の皆さまとのふれあいの機会として、茶の湯を楽しんでいます。

さて、豊臣秀吉は熱心な茶人でした。千利休との交流も密にありながら、千利休は首を取られました。有名な話ですが、茶の湯の歴史的にみればターニングポイントです。先人より紡ぐ茶道文化は四季折々の季節感を一碗で楽しめます。

茶道の魅力には例えば、着物が素敵に着られる、

文化協会だより

礼儀(マナー)も身につけ、筆字の上達、茶懐石を味わえるなど挙げればきりがありません。また、日々の生活の中に潤いと癒しをもたらす、心豊かに過ごすことができます。

石岡茶道会

TEL 26-2385 (塚原)

